

堺環境戦略（骨子案）に係る内田委員ご意見

項目	ご意見の内容
2050年の堺を取り巻く状況	堺が持続していくために地域循環共生圏の構築が不可欠であることは間違いないが、堺が周辺地域に何を提供できて、周辺地域に何を期待するのか、堺の立地特性を踏まえて具体的に記載できないか。
2050年の環境将来ビジョン <インフラ・設備等>	市有施設の脱炭素化は、2050年よりももっと早期に実現していると思われるので、2050年の環境将来ビジョンではなく、ロードマップに入れ込む内容ではないか。
2050年の環境将来ビジョン (エリアごとのビジョン)	コロナによる社会変化として、過度な人口集中を避け、リモートワークが広がるなど、分散型社会への移行が進むと考えられる中で、堺の都心エリアは、世界遺産が近くにあるという特徴もあり、住む場所、憩う場所、働く場所が共存できるポテンシャルがあると考え。そのようなイメージを打ち出せないか。
戦略実現に向けたロードマップ (①革新的イノベーションを 結集した脱炭素都市)	2050年という長期を考えたときに、大量輸送の公共交通と、化石燃料を使用する個々の車のエコ化、という概念ではなく、自動運転やオンデマンドなども含めて、車や公共交通の概念自体が融合して新たな交通システムが生まれてくるイメージではないか。 ロードマップについては、個別輸送、大量輸送、物流という分け方で表現することも一案と考える。 また、2030年頃に自動運転モビリティの試行導入を記載できないか。